畜　第　481　号
令和８年 11 月６日

関 係 各 位

岡山県農林水産部畜産課長

国内におけるランピースキン病の発生について

このことについて、令和８年 11 月２日付け、８消安第 4634 号で、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から、別添のとおり通知がありましたのでお知らせします。

つきましては、ランピースキン病の伝播防止のための次の対策について、改めて御理解・御協力をお願いします。

記

１　ランピースキン病への対策（予防）について

１）農場におけるサシバエ等の吸血昆虫対策

・成虫駆除（殺虫剤の散布、防虫ネットの設置など）
・幼虫対策（IGR 製剤の散布、適切な堆肥化、牛舎等の清掃など）
・休憩場所の排除（農場周辺の草刈りなど）

２）農場間の伝播リスクを低減させる対策

・車両の洗浄消毒、訪問農場ごとに車体や車内への殺虫剤の散布
・衛生管理区域専用の衣服の着用
・感染牛の早期発見、早期隔離

【担当】
岡山県農林水産部畜産課　衛生環境班　佐 野
TEL 086-226-7431
Mail:tooru_sano@pref.okayama.lg.jp

ランピースキン病
Lumpy Skin Disease(LSD)

要警戒！！

2026年11月1日 福岡県みやま市、11月５日 鹿児島県日置市、11月６日 長崎県対馬市 で、発生が確認されています。

Point

ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。
主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

- 発熱、鼻汁
- 皮膚の結節
- 泌乳量の低下
- リンパ節の腫大

疑わしい場合は
家保に連絡を！









写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
（State Central Veterinary Laboratory in Mongolia）

ランピースキン病の侵入防止対策

01 毎日の健康観察

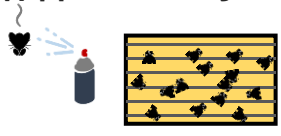
早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、出荷、移動時は健康観察を徹底。





02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

岡山県

MAFF 農林水産省